

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586031301	科目番号 / Course code	05860313
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15251_005		
授業科目名 / Course title	日本を知り、世界を知る (多文化社会における子どもと教育) / Life and Education for Children in Multicultural Societies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	見原 礼子 / Reiko Mihara		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	見原 礼子 / Reiko Mihara		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	見原 礼子 / Reiko Mihara		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学・歯学・工学・環境		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	rmihara nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟10階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	異なる文化的・宗教的背景を持つ人びとが共に暮らす社会において、子どもや教育にかかわる課題にはどのようなものがあるのだろうか。本講義では、日本とヨーロッパ諸国の多文化社会の歴史、政策、主要課題について取り上げつつ、具体的な事例を紹介しながら、受講生が多文化社会における移民の子どもの生活圏のリアリティとダイナミズムを理解できるようになることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とヨーロッパ諸国の多文化社会における子どもや教育にかかわる課題を挙げて、それらの課題に対する自らの意見が言えるようになる。 ・日本とヨーロッパ諸国の多文化社会の歴史、政策、主要課題を理解し、自らの言葉で説明できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各回の課題orレスポンスペーパー (45点) 筆記試験(55点)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回の授業後に課題またはレスポンスペーパーを課します。		
キーワード / Keywords	多文化社会、ヨーロッパ、日本、子ども、移民、教育		
教科書・教材・参考書 / Materials	特定の教科書は用いず授業内容に関連した資料を配付する。可能な限りLACSを用いる。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	グループワークに参加する意志のある者		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	見原礼子 / ユネスコ日本政府代表部での勤務経験 / ユネスコ日本政府代表部での勤務経験から、ユ ネスコ等の国連機関のデータや取り組みについて解説する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション
2	子どもの生活圏の多様性
3	「多文化社会」としての日本(1) データから読み解く
4	「多文化社会」としての日本(2) 改正入管法再考
5	多文化地域における地域の現実と課題
6	多文化地域における学校の現実と課題
7	小括
8	ヨーロッパ諸国の移民政策(1) 歴史
9	ヨーロッパ諸国の移民政策(2) 現在
10	移民政策の争点
11	移民の子どもの生活(1) 言語・家庭
12	移民の子どもの生活(2) 宗教・文化施設
13	移民の子どもと学校(1) OECD学習到達度調査
14	移民の子どもと学校(2) 文化の差異をめぐって
15	まとめ
16	筆記試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/01/30		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586031501	科目番号 / Course code	05860315
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15261_005		
授業科目名 / Course title	日本を知り、世界を知る (アジアの多文化社会から日本の将来を考える) / Multicultural Societies in Asia: What Can We Learn from Their Experiences?		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	細田 尚美 / Hosoda Naomi, 見原 礼子 / Reiko Mihara		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	細田 尚美 / Hosoda Naomi,		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hosoda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	グローバル化の時代、さまざまな国、文化、宗教の人たちとともに働き、暮らす方法を模索しているのは日本だけではない。この授業では、多様な文化的背景を持つ人々と共存する方法を試みてきた国々の例を紹介する。具体的な事例を通じて、多文化共生にはいくつもの方法があることを学び、将来に向けて私たちはどのような多文化共生の方法を選びとるべきかについて議論する。		
授業到達目標 / Course goals	(1) 世界の人の流れについての基本的な知識を身につける。(2) 授業で取り上げる複数の移民受け入れ国の事例に基づき、世界でみられる移民受け入れ政策の潮流とその結果を相対的に述べる事ができる。(3) 現在の日本の移民受け入れ政策に関し、他国の例と比較しながら、自分なりの意見を述べられるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業参加 (毎回の授業中の積極的な態度や課題への取り組み、コメントシートの内容) 50点、授業中に行う小テスト20点、最終試験 (あるいは最終レポート) 30点の計100点で評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	出席と予習復習 (内容は授業中に指示)。小テストや最終試験 (あるいはレポート) のための準備。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials			
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	小テスト予習してんでいるかどうかを確認するもので授業の冒頭に行う。第2回目の授業から実施。出席が不可欠。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回：イントロダクション
第2回	第2回：世界の人口移動の潮流
第3回	第3回：日本における移民現象
第4回	第4-5回：伝統的移民国の例
第5回	第4-5回：伝統的移民国の例
第6回	第6回：演習
第7回	第7-8回：非伝統的移民国（開発主義国）の例
第8回	第7-8回：非伝統的移民国（開発主義国）の例
第9回	第9-10回：非伝統的移民国（産油国）の例
第10回	第9-10回：非伝統的移民国（産油国）の例
第11回	第11回：演習
第12回	第12-13回：日本の例
第13回	第12-13回：日本の例
第14回	第14回：グループディスカッション
第15回	第15回：まとめ
第16回	第16回：定期試験（あるいは最終レポート）

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/21		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586031701	科目番号 / Course code	05860317
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15271_005		
授業科目名 / Course title	日本を知り、世界を知る (九州の民衆史から世界の民衆史へ~国道3号線を手がかりに~) / The Common History from Kyushu to the World--Around the National Route 3		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森 元斎, , 見原 礼子 / Reiko Mihara		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	森 元斎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	森 元斎,		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	motonaomori nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟12階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	近代以降の九州、とりわけ現在の国道3号線沿い周辺域で生じた出来事を、民衆の視線で取り上げ、近代化の流れへの抵抗や、近代的なものからの暴力がどのようになされてきたのかを論じ、民衆がどのようにして生きてきたのかを明らかにします。これに加えて、九州に住む現在の私たちの歴史を学ぶことも目的とします。		
授業到達目標/Course goals	近代以降の九州の民衆が、どのように近代化の時流に対応したのかを理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	講義期間中に提出する小課題(40%)と定期試験(60%)の合計		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	講義内容にそった復習をレポートの提出		
キーワード / Keywords	国道3号線、米騒動、炭鉱、水保、西南戦争、近代化		
教科書・教材・参考書 / Materials	講義中に随時紹介していきます。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	関連する書籍などを読むことが望ましいです。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	ガイダンス : 九州の近代化と国道3号線 九州と世界
2回	北部九州の近代化 アジアとのつながり
3回	門司港の米騒動 第一次世界大戦
4回	炭鉱の米騒動 軍部と民衆
5回	サークル村の磁場 上野英信
6回	サークル村の磁場 谷川雁
7回	サークル村の磁場 森崎和江
8回	福岡とアジア ドキュメンタリスト木村栄文(1)
9回	福岡とアジア ドキュメンタリスト木村栄文(2)
10回	戦争と詩 丸山豊
11回	山鹿コミュニケーション ルソーの思想とコミュニケーション
12回	宮崎滔天のアジア
13回	水俣病 医学者としての原田正純
14回	水俣病 世界文学としての石牟礼道子
15回	西南戦争と近代化
16回	定期試験